

附属機関等の会議結果の公開 様式

会議名	令和7年度第3回愛荘町まちじゅう読書推進協議会会議結果（概要）
開催日時	令和8（2026）年1月31日（土） 午後2時～午後3時15分
開催場所	愛荘町立愛知川図書館
出席者	平野宏文委員、北川知栄子委員、大辻登代子委員、綿谷駒太郎委員、西川裕治委員、柳田安代委員、野村仁美委員、寺田光子委員、三浦寛二委員
事務局	教育長 徳田寿、図書館 三浦寛二（事務局兼任）
傍聴者	0人
議 題	（1）愛荘町まちじゅう読書推進事業（文部科学省委託事業）について （2）その他
審議内容	<p>（事務局） この会議は委員の過半数の出席で成立し、本日の出席委員は9名であり会議が成立しております。では、会長に司会をお願いします。</p> <p>（会長） それでは、事務局より今年度の文部科学省委託事業の事業報告をお願いします。</p> <p>（事務局） 今年度文部科学省より受託した「図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業」についてご報告します。各実施事業の報告は前回の協議会時に行っていますので、本日はその後開催した事業を中心にご報告します。</p> <p>まず、まちじゅう読書の本棚「あいしょうまちじゅうライブラリー」の設置です。社会教育委員会議の皆様のご協力により、町内13か所に本棚を設置しました。こちらはマップも作成され、全戸配布しています。</p> <p>次に「愛荘66かまど祭り」での「本の交換会」です。11月16日に開催され、合計参加者数が732名と、非常に多くのおみなさまが本と触れ合う機会となりました。多くの出展ブースの中で、ここだけ人だかりができていたという話や、アンケートでも多くの方から好意的な意見を寄せて頂きました。</p> <p>次に、学校図書館と町立図書館で開催した「としょかんで外国語や異文化と親しもう！」です。英語とスペイン語で開催し、外国にルーツを持つ子どもたちも楽しむことができる内容でした。また、学校図書館と町立図書館では、「愛荘町の将来を町立図書館や学校図書館で考えよう（愛荘町版キャリア教育・ようこそ先輩）」も開催しました。こちらは愛荘町の将来と子どもたち自身の将来を、愛荘町にゆかりのある起業家とともに考える講座であり、中学校の学校図書館でも開催しました。児童生徒には好評だったほか、学校図書館を日ごろとは違う形で活用することで、先生から学校図書館の活性化に役立ったとの意見をいただいています。</p>

また、愛荘町読書記録活動（リーディングアーチェリー愛荘）を実施しました。先ほど表彰式を開催しましたが、のべ 431 名、合計 39,061 冊と多くの方にご参加いただきました。

最後に、委託事業の直接の成果ではありませんが、愛荘町では今年 9 月に「愛荘町まちじゅう読書の条例」を制定しました。今後も図書館を中心に読書のまちづくりを進めてまいりたいと考えています。

（会長）

本協議会は文部科学省委託事業の受託に伴い、事業の進捗状況の管理や提言を行う機関とされています。先ほど、「愛荘町まちじゅう読書の条例」を制定された話がありましたが、愛荘町の取り組みとして、今後も読書活動を応援するよ、という町の姿勢を示していただいたことはとても良いことと思います。また、この文部科学省の事業としても成功したとってよいと思いますが、委員のみなさまからご意見等をお聞かせください。

（委員）

こんなことができればいいな、という意見を 2 件お伝えしたいと思います。まず、まちじゅうライブラリーについて、以前実施されていたがなかなか広がらなかったが、今回は 13 か所に設置することができたと聞いています。以前広まらなかった原因と、今回は設置が進んだので、数年間は効果的に働く工夫をしなければならないが、今後の継続についてお聞かせください。

次に、学校図書指導員について、中学校でコミュニティスクールの活動をしていますが、中学校に配置されている図書指導員との連携が非常にうまくいっており、中学生が本を手取る姿が確実に増えています。図書指導員配置の効果は大きく、ぜひ継続してほしいと思いますが、いかがですか。

（事務局）

まちじゅうライブラリーは、以前は図書館主導で設置を試みたのですが、新型コロナウイルスの流行もあり進みませんでした。今回はみなさまや社会教育委員会のご協力があったからこそ設置が進んだと考えています。今後は、あくまで私案ですが、図書館でも設置個所を巡回しますが、まちじゅう読書の応援の組織を立ち上げて、みなさんとともにサポートする体制ができれば、と考えています。

（教育長）

図書指導員設置の効果はとても大きく、各学校での読書だけでなく、子どもたちの居場所として、また学びのサポートをする場として機能していると聞いています。今後の発展方向として、地域との協働や連携のほか、

学校のオリジナリティを出すことも考えられます。

(会長)

学校図書館は人がいる環境で大きく変わります。今後は町内の図書指導員に、高校の学校図書館を見学してもらうことも考えても良いと思います。

(委員)

愛荘町の学校図書館には小学校で全校に配置され、中学校の学校図書館に図書指導員はいつおいてもらえるかな、と思っていた。結果として先に小学校に配置し、その後中学校に広めたことはよかったと思う。今後の読書活動を広めるにあたり、サポートする組織を作るのは賛成したいし、ぜひ参加したい。

(委員)

まちじゅうライブラリーは、官民連携としてもよい取り組みだった。今回は読書推進をテーマにされていたが、まちづくりの視点を入れても面白いと感じました。

(委員)

今回の事業では多くの人が本を通じた活動に参加されたことに驚いたし、楽しかった。まちじゅうライブラリーは、マップを作って終わりにしたくないと思う。今後も継続した取り組みをしてみたい。社会教育委員会議としても取り組みたいが。

(会長)

社会教育委員会議では、まちじゅう読書の推進をテーマに活動されていたが、これ以外にもいろいろな課題があり、対応しなければならない。一方で、この事業でいろいろとスタートできたこともあり、まちじゅう読書の推進の進め方は課題となります。

(委員)

今回の事業で外国語の書籍を活用した事業を行った。この事業では、町内在住の外国にルーツのある方が活躍できる場となったことが良かったと思う。愛荘町には、外国にルーツを持つ子どもも多数いる。異文化交流が図書館でできたことは、多様性が求められる社会となる中でよい取り組みだったと思う。

(会長)

愛荘町では、出身の国や地域が多様化し、子どもの言語の種類も様々に

	<p>なっている。学校図書館でも対応が求められると思う。</p> <p>(委員)</p> <p>今回の事業で、本が身近にある環境を整えることができたことはよかったと思う。家庭に活字がないケースも聞くことから、本が身近にある、自主的に本を手に取りたいと思う子どもになってくれたら、と思う。</p> <p>(委員)</p> <p>学校図書館の貸出冊数が減少したことがあるが、タブレットの影響もあると思う。小学校では朝の読書の時間が無くなっているが、復活させたい。また、愛荘町はまちじゅう読書を進めているが、学校じゅう読書、の環境も作りたいと思うが、管理や調整が課題です。あと、お客さんがおすすめの本を置いている書店があることから、学校図書館で子どもたちがおすすめする本の棚があってもよいと思いました。</p> <p>(会長)</p> <p>大学入試で国語の問題に実用的文書があるが、これは情報処理能力が問われることから、大学入試に読解力とは異なる能力が求められつつある。一方で、本の魅力は確かにある。本でつながることもある。本のBOXを本屋に置き、自分の好きな本を販売しているケースもある。個人的には、愛荘町の読書でまちおこし、ブックウィークをやりたいと思う。</p> <p>では次に、これまでの意見を基に、協議会としての提言をまとめたい。おおむね、今回の事業で読書推進のスタートができたことから、今後の展開が必要であること、それには多文化共生につながる取り組みが必要であること、こどもの読書環境の整備が必要であることと思うが。</p> <p>(事務局)</p> <p>ありがとうございます。それでは、「読書推進活動の継続と発展」「多文化共生やまちづくりに向けた取り組み」「子どもの読書環境の整備」を提言としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、この3点を提言とさせていただきます。</p> <p>(会長)</p> <p>今回の会議はこれで終了します。</p>
問い合わせ先	愛知川図書館 連絡先 0749-42-4114